

# 安曇野建設事務所 まちづくり事業による整備効果事例

本町通り線 安曇野市 豊科（成相～新田）地区（防災・安全交付金 効果促進事業）

かつては、南安曇郡の郡都として栄えた歴史ある豊科中心部は、国道147号沿線の商店街の衰退など中心市街地としての活力が低下している状況にある。

平成24年度、県では、当地域の商店主に呼びかけ「豊科商店街を考える会」を発足し、今後の街づくりのあり方について議論を行ってきた。

平成25年度には、豊科の中心市街地の現状を踏まえた将来像やその実現に向けた取り組みなどについて考え、以降の具体的な活動展開につなげることを目的に地域と行政が連携した住民参加型のまちづくりワークショップの企画・運営支援を行った。



## 事業概要

- ワークショップ企画・運営支援(全4回開催)
  - ・第1回「語ろう、探そう！豊科市街の魅力」
  - ・第2回「歩いて見てみよう！豊科市街の表と裏」
  - ・第3回「思い描こう！豊科市街の未来の姿」
  - ・第4回「踏み出そう！新たなまちづくりの第一歩」

## 整備効果

4回の豊科まちづくりワークショップに地域住民 延べ95名が参加し、議論

豊科まちづくりワークショップを通じ、地域住民が中心となって長期・継続的な活動を展開する『豊科まちづくりグループ』が設立されるなど、気運が高まり、より実践的な取り組みが動き出した。

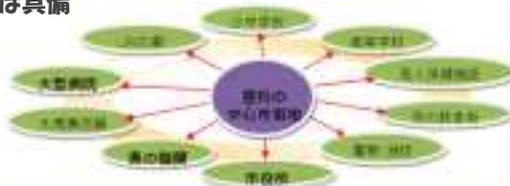
## 概要図



### 現状

- ① 国道147号沿線の商店街は空店舗・空家・空地がちらほら。活気も無く、歩道も狭い状況。

② 行政機関、病院、教育機関、福祉施設等コンパクトシティに相応しい要件は具備



### ワークショップの流れ

- 第1回（2月5日）  
「語ろう、探そう！  
豊科市街の魅力」  
→まちづくりに活かせる資源探し～  
目的：お楽しみ  
豊科市街にある商店、公園、施設、歴史など様々な視点から、豊科のまちづくりに「誰」が参加して行く。
- 第2回（2月21日～2月22日）  
「歩いて見てみよう！  
豊科市街の表と裏」  
→まちの表と裏、表裏の観察～  
目的：お楽しみ  
豊科市街を、第1回で得た視点から、歩いて見ると、表裏の観察が出来る。
- 第3回（4月8日）  
「思い描こう！  
豊科市街の未来の姿」  
→まちづくりの未来を思い描く～  
目的：お楽しみ  
豊科市街を、第1回で得た視点から、歩いて見ると、表裏の観察が出来る。
- 第4回（4月22日）  
「踏み出そう！  
豊科まちづくりの第一歩」  
→まちづくりに活かせる資源探し～  
目的：お楽しみ  
まちづくりに活かせる資源探し、まちづくりに活かせる資源探し、まちづくりに活かせる資源探し。

参加者：28名  
4つのグループに分かれて、まちづくりに活かせる資源（物、ひと、こと）を地図上に落とし、歴史、景観、食、祭りなどに分類・整理して、意見を整理しました。

参加者：20名  
調査をする1時間半のコースを歩いた後、その活かし方やアイデアを各自が紙に書き出し、皆で内容を話し合い、共通する意見に印をつけて、意見を共有しました。

参加者：18名  
「歩く、食べる、休む、寝る」など4つのアクションキーワードで、4グループが順番に話し合い、まちづくりのアイデアを具体化しました。

参加者：22名  
グループごとに話し合った1つのテーマ（豊科市街）を軸に、10年先の完成イメージの3年単位で決めた時間の中で、今後のまちづくりにストーリーを整理しました。



# 安曇野建設事務所 まちづくり事業による整備効果事例

本町通り線 安曇野市 豊科（成相～新田）地区（防災・安全交付金 効果促進事業）

【新たに設立された『豊科まちづくりグループ』の活動状況】

◇ 活動体制イメージ図

